

ウィキリークス

匿名により政府、企業、宗教などに関する機密情報を公開するウェブサイトの一つ。創始者はジュリアン・アサンジ。120万を超える機密文書をデータベース化している。

「優れたジャーナリズムは、本質的に物議を醸（かも）すものだ」

「権力者の横暴と戦うことこ

そ、優れたジャーナリズムの役目。そして権力というものは、挑戦されると決まって反発するものだ。つまり、物議を醸している以上、情報公開は良いことなのだ」

とも「(情報)テロリスト」(米共和党下院議員)なのか。前例のない規模で機密情報の公開を続けるアサンジ氏は、既存メディアをも巻き込み、その「破壊力」を見せつけている。



ウィキ

リークス

は、アサ

ンジ氏が

2006

年に中国

の反体制

活動家ら

数人と創

設。政府

や企業関

係者に内

部告発を呼び掛け、提供情報を公開することで「より公正な社会」の実現を目指すことを掲げている。

特定の組織からの資金援助に頼らず、小口の寄付を中心とした資金集めで独立性を確

保。年間約17万5千ポンド(約2300万円)という低予算で活動を継続できる背景には、本部などを持たない上、世界中に散らばる約800人のボランティアがネットを通じて支援できる体制を整えていることがある。

米軍のヘリコプターが07年にバグダッドで民間人らを誤射する場面の機密映像を公開した今年4月以降、一部で存在感が高まっていたが、世界的にはまだ無名に近い存在だった。

転機は7月にアフガニスタンの軍事作戦などの機密文書約7万6千点を暴露したこと。それまで距離を置いていた大手メディアに対し、解禁日を設け文書を事前に提供。米紙ニューヨーク・タイムズや英紙ガーディアンなど有力紙が、紙面を大きく割いて報道した。

大手メディアが持つ信頼性や文書の内容を精査した上で発信する能力が欠けていたウィキリークスと、「特ダネ」を逃したくないメディア側の本音が合致した。

一番大切なもの

今あなたにとって一番大切なものは何でしょうか。望むものは何でしょうか。それは、まだ足りないものではないでしょうか。「儲け」ですか。健康ですか。「儲け」は社会からの事業依頼のお金です。利益は、使うために社会から投資されているのです。あの世まで、いくら儲けても絶対にとって行けません。いつかは誰かに、または社会に還元しなければならぬものです。

それよりもあなたは、誰かから必要とされていないでしょうか。

江戸時代の「遊び人」は、ある意味で誉め言葉でもあったが・・・。

お金持ち世代(高齢者)の遊びの文化が貧しいのではないのでしょうか。宵越しの金はねえ・・・。

物より心の遊び文化の衰退が、国家社会が男女の機微を忘れた。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2010年12月9日(木) NO. 158

地域から明るい未来を作ろう